

全佛通信

四月号
発行所 財団法人 全日本仏教会
東京都中央区築地三ノ木(本願寺内) 電話 〇三三三
振替東京 三三三〇〇
発行人 栗本俊道
編集者 別所弘因
印刷所 ルンビニ社

衆参両院仏教議員招いて 時局対策協議会発会す 委員幹事会で運動方針を検討

全仏時局対策協議会の発会披露懇談会は既報のとおり、三月十四日正午から東京赤坂プリンスホテルにおいて仏教系国会議員多数を招いて盛大に開催されたが、それに先立って同協議会の第一回委員幹事会が同所で午前十時三十分から正午に亘って開催された。当日は大谷光昭会長以下、各宗総長、委員幹事など計六十三名が出席し各種議案について熱心に協議した。

委員幹事会で運動方針を検討

界諸問題の解決と、正しい仏教の



(写真) 発会式で挨拶する大谷会長

まづ会は栗本総主事の司会により第一回委員幹事会を開催する旨挨拶があり、次いで白山副委員長金剛委員長より夫々、現仏教界に山積せる難問題につき説明し、委員の意見を徴し善処の対策をし、時局対策所期の目的達成を期する旨協力方を要請した。終って座長に金剛委員長が着席し議事に入った。冒頭栗本総主事から全仏組織の別置機関として、山積せる仏教

常務理事会及全国宗務総長会議の議を経て決定したこと、委員には各宗推薦者の外に、各宗総長及学識経験者を網羅して委嘱したこと等を述べ、協議会の目的の一つである農地、墓地問題等は既に実質的に運動を展開していることも補足説明した。ついで栗本総主事より出席の各委員幹事の個人紹介がなされた。次いで運動方針について、

- ① 仏教界諸問題の情報、資料の調査収集
 - ② 排他的宗教の非仏教運動の調査研究。仏教運動の闡明と純正化を期する
 - ③ 寺檀関係の再編成への調査研究
 - ④ 仏教理念に基づく政治、経済、教育の総合的対策
 - ⑤ 墓地、農地、權益問題等の政治的解決策
 - ⑥ 出版、講演、研修及び適切な広報活動の展開
- 等について説明があり、残された短期間において具的対策が樹立されねばならないことが強調された。終って増永委員より具体的な運動方針を打出された旨の要望があったが、第一回目の会合であり、種々各委員幹事の意見を徴し、運動を具体的に打出したいと願う段階にある。常任委員を選出して対策、検討する線も考えられる旨事務局側から回答があった。また浜田、摩尼委員より、近時マスコミの企業形態が大きく、世間の批判的的となつていく。宗教の立場よりその指導、監視がのぞまれているとの意見の開陳があった。また吉本委員より宗教法人の權益問題についての検討、伊藤(道)

第十二回全仏会議九州大会要項

聖徳太子精神高揚

- 記
- 一、期日 昭和三十八年六月三日(月)四日(火)
 - 二、会場 福岡市 電気ホール
 - 三、日程
 - ◇第一日(六月三日)
 - 開会式 八・〇〇
 - 記念講演 "九・〇〇
 - 講師 ラルジ・メロ
 - トヲ駐日印度大使(交渉中)
 - 休 憩 "一・〇〇
 - 部 会 食 記念撮影・屋
 - 部 会 後 "一・〇〇
 - 聖徳太子奉 "四・二〇
 - 贊式典 "八・〇〇
 - ◇第二日(六月四日)
 - 総 会 前 八・〇〇
 - 部会報告・質疑応答・採決・宣言決議文発表
 - 感謝決議・次期開催地発表・議長挨拶
 - 閉会式 "一・〇〇
 - 觀光出発 後 "一・〇〇

- 一、議題
 - 聖徳太子の和の精神を現代に生かそう
 - (議題の細則は宗派団体に既に発送済みであるが、提出が切りは四月十五日とする)
 - 一時出発、申込みは必ず必要金額を添えて、四月末日迄に申込みすること、定員に達した時は切替る
 - A コース(市内観光) 一四〇円
 - B コース() " 一五〇円
 - C コース() " 一六〇円
 - ①(三泊四日) 七〇〇円
 - ②(三泊四日) 六〇〇円
 - D コース(九州一周、六泊七日) 三三〇〇円
- 二、備考
 - 1、参加費は全仏へ
 - 2、観光、宿泊費は九州大会事務局宛(申込が切四月末日)
 - 3、納入の諸費用は不参加の場合でも返却致しません
 - 4、観光、視察の場合一コース五〇名以下の場合、コース変更又は返金する場合もあります
 - 5、其の他不明の点又は、申込書必要の方は全日本仏教会に御連絡下さい

- 一、参加資格 全仏加盟各宗派、府県仏教会及各団体の推薦者
- 二、参加費 七〇〇円(申込書に添えて全仏宛送金のこと)
- 三、期限 四月末日迄
- 四、定員 千五百名(定員に達した時は切替ることもあります)
- 一、宿泊
 - 1、申込所 福岡市大濠町本願寺会館内 九州大会事務局宛
 - 2、宿泊(全部旅館) 老千五
- ◎ 霧島一泊が抜けておりましたので、附加致します

委員より資料調査の迅速化を考慮されたい等の要望があった。当局より、全仏の組織をフルに活動して、全仏自身が時局対策委員会に中核を持つべく努力していると回答した。委員より、本協議会の龍頭蛇尾に終らぬよう活動してほしい旨の要望がなされ、安居幹事は地方の僧侶出身教員の擁護問題等にも緊密なる中央との連絡をのぞんでいると要望があった。三宅委員は、農地補償問題の最近の情勢について説明し、法人が度外視される傾向にあったが、幸い自民党農地調査会委員長の綱島正興氏の努力で法人も認められる確約を得た。今後共憲法八十九条問題、憲法解釈問題等につき検討、対処すべき要がある」と述べた。ここで金剛座長より常任委員選定につき諮り全員異議なく、人選については当局へ一任する事に決定した。終つて大谷光昭会長より、時局対策協議会の目的、必要性を自覚し、実質的に成果を期されるよう、将来の希望の基となる事を期待し、協力方を要望する挨拶をなし、金剛座長閉会の辞があり、正午すぎ散会した。出席者は、大谷光昭、清水谷恭順、高階雅仙、金剛秀一、阿部竜伝、松本徳明、白山亮一、(委員)上野頼榮、平林有高、野村宗春、太田淳昭、清水祐之、訓朝信雄、末広愛邦、吉本道徳、金子弁雄、山本 彬、吉本道徳、高橋正空、棚瀬襄爾、藤原 俊、金子正則、北山春寛、竹島三三、朝倉俊夫、源 玄英、井上恵行、摩尼清之、伊藤道機、塩入亮忠、吉田敬直、來馬道断、常光浩然、浜田本悠、大塚 弘、真溪義真、増永盡

鳳、久保田正文、狩野獲麟、石川存静、椎谷 健、栗本俊道、(幹事)橋爪良恒、小沢昭禱、高山有進、安居香山、石田瑞麿、森 閣竜、服部松吉、峯岸広哉、蓮池東洋、塩入亮忠、船口暉子、鈴木敏範、塩田隆雄、稲沢浄光、門屋大寿、別所弘因、柳 了堅、(全仏職員)伊東堅純、相馬広済、鎌田良昭、福井清俊(順不同敬称略) なお時局対策協議会結成披露懇談会は、ひきつづいて同所一階のグリーンホールで行われた。栗本総主事の開会の辞について大谷会長が立つて挨拶をなし、宗団内部の諸問題の対策はもとよりの事ながら、更には現代社会の複雑なる状況に鑑み、仏教の健全なる発展のため、宗外の諸大徳の認識を仰ぎ、宗内外相提携して、人づくりの土台としての決意を新たに致したい。各専門の立場に於て御支援協力を願いたいと強張した挨拶をのべた。ついで金剛秀一委員長は、御多繁中多教御参会頂き、衷心より感謝の意を表す。宗内外、宗団の連絡、提携の目的をもつて財団法人全日本仏教会は発足したのであるが、爾來十年余を経た今日、緊急せる社会情勢に基き茲に時局対策協議会を結成した次第である。仏教の正しい振興のため一路邁進する覚悟をきめていく。仏教を基調とする諸対策、政治的解決に俟たねばならぬ問題が多々派生しつつある現状にある。宗教は本来、人間を正しく導く事にある。今日ほどその必要性に迫られている時代は無い。しかるに現今の社会には非仏教的運動の風潮が強まって来ており、我々仏教徒にとつては憂慮の極みである。

内外各位の御理解、御認識を得て本協議会の目的達成に御協力、御支援願いたいと力強く挨拶をなした。清水谷恭順全仏副会長の発声で乾杯をなした。次いで会食に移り、栗本総主事より出席の仏教系国会議員の個人紹介をなし、満場の拍手を得、次いで各国国議員より夫々祝辞と激励のことが寄せられ満場感激の拍手につつまれ、白山副委員長閉会の辞で、午後一時四十分頃閉会となった。なお当日は大谷会長以下副会長、顧問、参与から委員幹事会出席者と左の衆参両院仏教系議員が出席した。

(衆議院) 有田喜一(兵庫五) 小川半次(京都一)、草野一郎平(滋賀)、阪上安太郎(大阪三) 佐藤銀次郎(愛知三)、中村幸八(静岡三)、丹羽喬四郎(茨城三)、前田義雄(岐阜二)、安藤 覚(神奈川三)、坂田英一(石川一)、三池 信(佐賀)、小沢太郎(山口二)、小金義照(神奈川三)、薩摩雄次(福井)、田中栄一(東京一)、綱島正興(長崎二)、中島茂喜(福岡一)、八田貞義(福島二)、早稲田柳右衛門(愛知二)、山崎 巖(福岡三)、浜地文平(三重二)、金子一平(岐阜二) 佐藤洋之助(茨城三)、内藤 隆(富山一)、玉置一徳(京都二)、大野市郎(新潟三)、佐伯宗義(富山一)、細田吉蔵(島根)、本島百合子(東京三) (参議院) 赤松常子(全国) 青柳秀夫(愛知)、大谷賢雄(全国) 加藤武徳(岡山)、川上為治(全国)、川野三暎(全国)、北島教真(全国)、津島寿一(香川)、小柳牧衛(新潟)、山本 杉(全国)(順序不同、敬称略)

昭和三十八年度財団法人全日本仏教会歳入歳出予算		歳入		歳出			
科目	項目	予算額	前年度予算額	科目	項目	予算額	前年度予算額
総務	職員俸給	1,000,000	950,000	総務	職員俸給	1,000,000	950,000
	役員俸給	500,000	480,000		役員俸給	500,000	480,000
	事務費	200,000	180,000		事務費	200,000	180,000
	印刷費	100,000	90,000		印刷費	100,000	90,000
	光熱費	100,000	90,000		光熱費	100,000	90,000
	通信費	100,000	90,000		通信費	100,000	90,000
	借入金	100,000	90,000		借入金	100,000	90,000
	雑費	100,000	90,000		雑費	100,000	90,000
	雑収入	100,000	90,000		雑収入	100,000	90,000
	雑費	100,000	90,000		雑費	100,000	90,000
教育	講義料	1,000,000	950,000	教育	講義料	1,000,000	950,000
	教材費	500,000	480,000		教材費	500,000	480,000
	施設費	200,000	180,000		施設費	200,000	180,000
	研究費	100,000	90,000		研究費	100,000	90,000
	渉外費	100,000	90,000		渉外費	100,000	90,000
	共同事業費	100,000	90,000		共同事業費	100,000	90,000
	各種委員会費	100,000	90,000		各種委員会費	100,000	90,000
	各種研究費	100,000	90,000		各種研究費	100,000	90,000
	渉外研究費	100,000	90,000		渉外研究費	100,000	90,000
	渉外費	100,000	90,000		渉外費	100,000	90,000
弘教	弘教費	1,000,000	950,000	弘教	弘教費	1,000,000	950,000
	海外弘教費	500,000	480,000		海外弘教費	500,000	480,000
	海外弘教費	200,000	180,000		海外弘教費	200,000	180,000
	海外弘教費	100,000	90,000		海外弘教費	100,000	90,000
	海外弘教費	100,000	90,000		海外弘教費	100,000	90,000
	海外弘教費	100,000	90,000		海外弘教費	100,000	90,000
	海外弘教費	100,000	90,000		海外弘教費	100,000	90,000
	海外弘教費	100,000	90,000		海外弘教費	100,000	90,000
	海外弘教費	100,000	90,000		海外弘教費	100,000	90,000
	海外弘教費	100,000	90,000		海外弘教費	100,000	90,000
その他	雑費	1,000,000	950,000	その他	雑費	1,000,000	950,000
	雑費	500,000	480,000		雑費	500,000	480,000
	雑費	200,000	180,000		雑費	200,000	180,000
	雑費	100,000	90,000		雑費	100,000	90,000
	雑費	100,000	90,000		雑費	100,000	90,000
	雑費	100,000	90,000		雑費	100,000	90,000
	雑費	100,000	90,000		雑費	100,000	90,000
	雑費	100,000	90,000		雑費	100,000	90,000
	雑費	100,000	90,000		雑費	100,000	90,000
	雑費	100,000	90,000		雑費	100,000	90,000

昭和三十八年度財団法人全日本仏教会歳入歳出予算
 歳入 金八、一一五、〇〇〇円也 歳入予算高
 歳出 金八、一二五、〇〇〇円也 歳出予算高
 歳入歳出差引残金なし

四月(日時)会場・内容等

三日二時 自性院 花祭り子供
大会 城東仏教団

七時 亀戸会館 花祭り子
供大会 城東仏教団

四日一時 太宗寺 新宿一丁目
より稚児供養 会場にて
灌仏法要子供大会 四谷
仏教会 四谷花祭り奉賛
会

二時 童光寺 花祭り子供
大会 城東仏教団

四日七時 法徳寺
花祭り子供大
会 城東仏教
団

五日二時 東覚寺
花祭り慶賛法
要 城東仏教
団

六日一時 大法寺
花祭り大会
杉並仏教会

六日一時 梅窓院
法要と子供映
画大会 花い
っぱい運動に
協力風船五〇
〇個を飛ばす
赤坂仏教会

六日二時 亀戸幼稚園 花祭り
子供大会 城東仏教団

七時 光明寺 花祭り子供
大会 城東仏教団

七時 台東図書館 花祭り
の夕 講演寺内大吉師
浅草仏教会

三時 池袋三越食堂 花祭
り前夜祭 豊島仏教会

一時 大谷ホール 花祭り
子供大会 浅草仏教会

七日十時 仏教センター 記念

講演宮本正尊博士 神田
寺

七日十時 日ノ出村公民館 講
演 御詠歌 仏教劇と映
画 秋川仏教会

一時 仏教センター 花祭
り前夜祭 林田三平 ビ
ルマの竖琴 神田寺

一時 光明院 花祭り法要
杉並仏教会

一時 とげぬき地蔵尊 花
祭り大会 豊島仏教会

一時 萩寺 花祭り俳句大
会 城東仏教団

一時 護国寺 十五周年記
念花祭り供養 時代祭大
会 行列 護国寺供養会

一時 白木屋 花御堂飾り
法要等 日本橋仏教会

二時 世尊院 花祭り法要
杉並区仏教会

三時 中央児童相談所 花
祭り子供大会 豊島仏教
会

六日七時 石浜小学校 花祭り
前夜祭 映画観賞 浅草
仏教会

七日終日 向島百花園ほか 向
島仏教会

八日十時 スミダ劇場 子供と
母の花祭り大会 日本仏
教鑽仰会 東京仏教保育
協会

十時 浅草寺観音堂 釈尊
降誕法要 浅草仏教会

十時 高尾山仏舎利塔 釈
尊降誕法要 東京都慰霊
協会

一時 文京公会堂 花祭り
記念大会式典と講演 演
芸大会 東京花祭り会

交京区仏教会
八日一時 品川公会堂 降誕会
子供大会 品川仏教連合
会 大井花祭り奉賛会

一時 雑司谷鬼子母神 稚
児大行列 豊島仏教会

一時 持宝院 花祭り慶賛
法要 城東仏教団

一時 長遠寺 花祭り大会
花祭り書道展 浅草仏
教会

一時 日比谷公会堂 音楽
法要と献茶灌仏 花祭り
芸能大会 日本仏教鑽仰
会 仏教諸団体連合

一時 新井薬師梅照院 地
元町会花祭り大会 中野
仏教会

一時 新宿生活館 灌仏会
法話演芸 牛込仏教会

一時 中野区内各寺 子供
花祭り大会 中野仏教会

三時 文京児童会館 子供
花祭り大会 小石川仏教
会

終日 吾孺地区原公園他
花祭り大会 向島仏教会

九日十時 スミダ劇場 子供と
母の花祭り大会 日本仏
教鑽仰会 仏教タイムズ
社

十時 上野松坂屋 店内稚
児行列 花柳秀日本舞踊
榊原舞踊団の印度舞踊
駒込高校ブラスバンド
下谷仏教会

九日~十四日 日本橋三越 絵
画 書道彫刻工芸展観

現代仏教芸術院
十日~二十九日 読売ホール
鑑真和上千二百年奉賛記
念公演「天平の塵」観劇

の集い 東京仏教団 劇
団前進座
十日十時 三越劇場 子供と母
の花祭り大会 日本仏教
鑽仰会 東京仏教保育協
会

十二日十時 白木ホール 子供
と母の花祭り大会 日本
仏教鑽仰会 仏教諸団体
連合

十四日一時 八王子織維貿易館
稚児供養灌仏法要 素人
のど自慢大会 八王子仏
教会

五月
八日一時 板橋区民会館 街頭
パレード 法話 演芸
板橋区仏教会 淑徳学園

〇各宗派、県仏人事交代に伴い全
仏役員交代
真言宗山階派宗務総長に川原快
俊師就任。全仏評議員に就任。
三月十一日付
京都府仏教会理事長奥博良師は
全仏評議員及び理事に就任す。
日蓮宗々務総長に金子弁浄師就
任。全仏評議員、理事に就任。

在セイロン 田村氏から便り
英文仏教百科辞典編纂のため昨
年六月からセイロンに渡っている
田村晃祐氏から便りがとどいたが
着任以来緑と温暖の中で元氣一杯
過しており、ただ一人の日本人編
纂所員として残る一年有余の滞在
期間をがんばりたいとのことであ
る。田村氏はいま左記に滞在して
いる。

KOYU TAMURA,
BUDDHIST ENCYCLOPAEDIA
COMPILATION OFFICE, UNI

VERSITY PARK, PERADENY
A, CEYLON.
ナムキヤル王子の結婚式へ
全仏からは三月十八日、既報のシ
ッキム国王ナムキヤル王子の結婚式
に際して航空便で祝辞をおくり、
仏教精神を通じて日本との友好増
進を祈念した。なお結婚式は三月
二十日シッキムの首都ガントク市
の王宮大広間で、各国外交官、仏
教徒代表を招いて盛大に挙行され
た。

タイ仏教会へ
大谷会長のメッセーチ
創立三十年を迎えたタイ国仏教
会では、既報の通り記念出版をす
ることになったが、全仏では去る
三月二十日大谷会長名長名によつてメ
ッセーチを送った。なおメッセー
チはこの記念出版物の巻頭をかざ
ることになっている。

台湾物故邦人慰霊塔完成
四月九日 築地本願寺で除幕式
台湾で死亡した日本人の霊を慰
めるため、台湾物故者慰霊塔建設
会(長谷川清会長)では、かねて
から東京築地本願寺境内に慰霊塔
の建設をすゝめていたが、このほ
ど完成し、その除幕、納骨式が四
月九日同所で開催された。

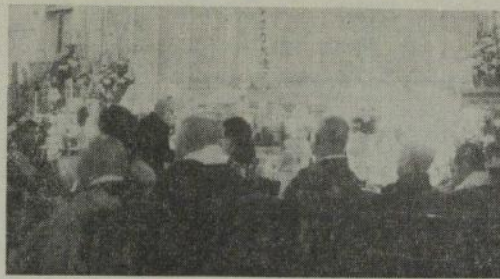
なのお慰霊塔には、一万三千柱
の分骨がおさめられる。
当日は大谷光照本願寺派門主を
はじめ各宗総長が列席し焼香した

築地本願寺に五百余名が参列

故フオンセカ大使追悼葬送式

三笠宮殿下も焼香に参列

駐日セイロン大使サー・スワン・デ・フォンセカ閣下追悼葬送式は、日本仏教徒有志一同（葬儀委員長長井真琴博士）の主催、全仏協賛によって三月二十四日午後四時から小雨降る東京築地本願寺本堂において五百人が集まりしめ



(写真) 弔辞をのべる長井真琴博士

やかに開催された。

式は全仏狩野野織局長の司会によりはじめられ、長井葬儀委員長の弔辞にひきつづき、故大使と十年あまりの親交のあった福島県伊達町立伊達中学生代表が切々たるお別れのことばをのべ、参会者の中からすすり泣きの声がかかれた。清永祐之築地本願寺輪番導師のもと同寺一山僧侶の読経がは

じまり、各宗派代表の栗本俊道師（浄土）、白山亮一師（大谷派）岡野正道師（孝道教団）、清水谷恭順師（浅草寺）、高階瓊仙師、岩本勝俊師、別所竜城師（曹洞）末広愛邦師（大谷派）らが唱和した。ついて各地から寄せられた二十数通に上る弔電が披露され、終つて故大使令嬢をはじめ、三笠宮殿下、駐日インド大使夫妻、カンボジア大使、李方子全日仏婦副会長、セイロン大使館員、留学生、



(写真) 本堂をうめた参列者

一般の順に焼香が行われ、香煙はつきることなく堂内にただよっていた。一般焼香が終り、最後に長井葬儀委員長の挨拶があつて午後五時二十分頃閉式となった。

なお遺体は同夜築地本願寺に仮安置され、翌二十五日午前九時から同本堂において在日外交団の告別式があり、同日午後四時羽田発の特別機で折りからの強風の中をセイロンへ向った。羽田へは在日外交団、日本山妙法寺の僧侶ら、仏教徒が多数見送ったが、全仏から石川国際局長と鎌田主事らが見送った。

組織教化委員会開催

全仏組織教化委員会は、去る三月二十五日午後三時より曹洞宗々務庁で開催され、主として第十一回九州大会開催の件並に第八回講習会の件について諮問した。

当日の出席者は左記の通り
新美孝道、賀来琢磨、長田恒雄、五島宗宣、池田寛厚、塩入亮達、田野憲宥（熊野竜夫氏）、野村宗春、内山憲尚、権藤円立、吉水智承、川田聖見
各氏より左のような意見が開陳された。

○大会について

聖徳太子の和の精神といつても少くしはくせんとしているから、ポイントをおくようにしたらどうか、特に一般大衆に結びつく点を討議しなければ意味がない（賀来）
花一杯運動や、国土美化運動など社会の人たちに直接アピールするような宗教家らしい運動もして見たらどうか（長田）、兎に角、在家の仏教徒にもっと呼びかける運動を盛り上げよ（小池）、現在仏教婦人が老人と青年に分れてしまつてゐるがこれはまづいことだ。
歌ごえ運動のようなものでも運んできて和の精神を自然のうちに運び上げよ（内山）、コーラス隊、

聖歌隊の活用をもっと盛んにして大会のムードを盛り上げよ（賀来）
現在の定款内容では教化の具体的実践ということは不可能であるから、時局対策協議会というものを作つてすでに発足した。この部門で具体化したい（金剛理事長）
○講習会について
議題並に日時その他具体的内容については後程当局案を示したいが先づ皆さんの御意見をうけたまわりたい（狩野）
学会問題は身延山大会の時、身延山当局が「この問題は私共に任せてくれ」といったがその後只今のように全仏教界の問題となつてしまつた（五島）
相手を只悪くいつて攻撃するだけではない。むしろ仏教徒自身がどういう態度をとつたらよいかを研究しなければいけないと思ふ（内山）
講習会は只、えらい人の話を拝聴するといつただけでなく身体や手足を動かすこと、つまり歌や踊り（勿論仏教徒の）をおぼえて帰るといったレクリエーションを加味することは非常に大切なことだと思ふ（加来）
仏教界出身の教職者（小、中学校の先生）の再教育をせよ（吉水）
講習会でなく研修会という名称にすべきだ、身体をうごかして得る収穫があれば研修会自体が若返るのではないか（賀来）
昨年の講習会（禅、浄土、密教）題目についてそれぞれの専門家が安心をきく）は大変よかったと思ふ（新美）
講師も仏教畑の人だけでなく在家の一芸一道に秀でた人の意見をきくことも参考になるのではない

創価学会 批判

編者 国柱会教務部
発行所 東京都江戸川区一之江四の十三
真 世界社
定 価 一部百卅円送共

第七回 講習会紀要

増永靈鳳、篠田竜雄、蓬茨祖運、那須政隆、石川泰道
各講師が夫々禅、念仏、題目、密教の四部門につき専門的見地から講述した、布教家必見の書！
定価一部百三十円送料共
申込みは いづれも
全仏 組織局宛

全仏必携

○宗教法人・法人（地方登録）
税法関係法規・墓地埋葬等に関する法規集・全仏定款・加盟宗派、県仏、団体諸役員名簿・各宗役員名簿・各宗本山・別格本山、本山役員録・仏教系高大学一覧表・世界、国内仏教徒会議録、世界仏教徒連盟（WFB）各国支部所在地・在外各宗開教本部所在地・その他二百五十頁
仏教徒必携の書／残部僅少
○体裁一新書版、携帯に便利
○定価金三百円也送料（四〇〇円）
お申込みは
全日本仏教会組織局宛
振替東京五九五四七番

か（長田）

西本願寺では宗務所職員対称に「集団力学」の研究会

浄土真宗本願寺派宗務所では二月一日から三月の年度内に前後六回にわたって、伝道院が主催となり、宗務所職員を対称に「集団力学」をテーマとして特別研究会を開く。これは末寺の本山への不信感を解消するためには先ず宗務所員が門末から信頼されなければならないというわけで、門信徒会づくり運動の推進と共に研修会や集団活動が盛んになってきているので、その理論と実践とを職員自身につけさせようというものである。

仏教界ニュース

真言宗智山派で教育学大系の集大成を準備

真言宗智山派では来年中までに同派の教育学大系を集大成し、菊版五〇〇頁の布教資料二〇冊を発刊すべく本年度分の予算も獲得し準備を進めている。

曹洞宗大本山総持寺では、明春行なわれる二祖峨山禪師遠忌の記念事業である祖堂の上棟式が四月上旬に挙げられる見込みとなったが、また本山当局ではこのほどその維持運営の財源策の一つとして、境域の尊厳を損わない団地住宅二〇〇戸を建てる計画がなされている。

全国青少年教化協議会では、二月一八日から三日間東京の真言宗豊山派宗務所において第一回青少年教化研究会を開き、「現代における青少年教化の問題」

一に関するデイスカッション、日曜学校における教育理念や日曜学校の開設と運営をめぐる研究座談会、日曜学校の諸形態と新しい児童心理学にかんする講義等によって同協議会の具体的な進め方を検討するとともに運動推進の指導者を養成するために、指定の七モデル地区から各々六名を選んで行なおうというのである。

大阪府仏教会の結成

都市寺院の総合的な仏教会議の開催を目ざしてきた大阪府仏教会（会長間野敬重師）では、このほど府下各寺院を網羅した大阪日生命ホールで開催した。二月一三日第一回の大会を大阪朝日生命ホールで開催した。協議題は、青少年育成問題・仏教軽視の問題を中心とした「仏教は今後如何にあるべきか」であった。この会議は昨年五月に全仏の大会が大阪での開催を機に、昨年の暮れごろから府市両仏教会役員の間で準備が進められてきたものである。

真宗大谷派では去る三十六年の大遠忌法要を期し、その前年である三十五年十一月宗門の現組織を動員して同派全国の寺院、教会を対象にして（但し、別院支院並びにこれに付属する教会はこの統計に含まれていない）行った教勢調査の報告を一月二名の調査員を委嘱し、調査員が組内の各寺院、教会に対する調査票の配布記入指導回収を担当し、それぞれの教務所を経由して宗務所へ集められたもの回収率は九九・四％という高

度を示した。内容は、教区別寺院・教会別調査票回収状況を記し、寺院・教会の開創年次・土地建物・住職・寺族・有僧籍者・教師・寺族の職業・教化活動・檀信徒などに関する集計結果を、寺院・教会・組別都道府県別等の項目にわけて示している。

孝道教団では昨年統理夫妻が渡米し、北米開教の道をつけたが、同教団壮年会長・同青年会長がこのほどアメリカのクレアモント大学に比較宗教学の研究で留学することになり、これを機会にアメリカ布教に当ることになった。また天台宗延暦寺の大講堂落慶を祝し、四月二十六日同教団統理以下式衆、檀信徒など四百名の慶讃大法要を新講堂でつとめることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

曹洞宗々務庁では、かねてから計画していた禅の手引となるスライドを、東大小石川分院精神医学教室の平井氏の協力を得て、この程「現代を救う禅」として完成し、海外にも送ることになった。

佐伯良謙師聖徳宗管長逝去

急牲肺炎を併発し、病状悪化して三月八日法隆寺で逝去された。師は聖徳会館の建設等法隆寺の発展に大きな功績を残した。

全佛事務局だより

△時局対策協議会は既報のとおり三月十四日力強く発会した。第二回目の幹事会は四月二日に開催され、具体的な運動を推進することになった。大いに期待される。

全仏事務局は築地本願寺の補修工事のため二月二十六日に局員総出で引越し作業にあたり、本願寺内の仏教文化交流協会図書室において事務をとっている。何分にも元の部屋の四分の一の狭さなので事務は勿論のこと、来客の接待にも不便を来たしているが、五月一杯には再びもとの古巣へもどることになる見込みである。

△セイロン大使フオンセカ氏の急逝は全仏教徒の驚ろきと悲しみであった。氏の日本仏教徒にのこした功績は大なるものがある。御冥福を祈るのみである。

△九州大会も三ヶ月後に迫り組織局では種々の事務に大奮であるが、このほどボスターも出来上り大会気分も盛り上って来た。

△着任以来綿密な仕事ぶり定評のあった吉井浄仙組織部長は、このほど自坊の都合で辞任されることになり、三月三十日付で辞表が受理された。後任として岩本昭典師（曹洞宗）が四月一日付で組織部長に就任した。

△仲井義照真宗本辺派宗務長逝去

本会発足以来、評議員その他委員として活躍された真宗本辺派宗務長仲井義照師は、昨年来病氣療養中のところ、三月八日逝去された。行年七十五才。全仏から直ちに弔電が送られた。

雲光院で尺八の稽古

青山学院大学で英語の教鞭をとっている傍ら、日本のひなびた情緒をさぐるべく尺八の稽古に精進している、米国人ブライアン・A・ピクトリヤ氏は、このほど全仏の斡旋によって東京江東区深川三好町にある、浄土宗雲光院に三月三十日から四月六日までの一週間宿泊して尺八三昧に精進することになった。氏は今年六月頃出来れば東北地方を廻り、寺院に宿泊しながら日本の良さを発見したいと云っている。

生きた宗教をフィルムに

フランス人夫妻来日 このほどフランス人のジャック・デ・マルケ夫妻が東南アジアを経由して来日し、主として日本の宗教の現状をフィルムにおさめることを目的として、週日東京築地本願寺にも参拝に見え、全仏の石川国際局長と種々懇談した。なお同氏は四月早々京都へ行くことになっており、石川局長名にて仏教文化研究所の藤吉慈海師あてに紹介状を送った。夫妻は京都では関西日仏会館に宿泊し、実際に動いている日本宗教の姿をフィルムにおさめる予定である。

サー・スサンタ・デ・フオンセカ大使

三月十七日午後十一時、東京田園調布の大使館公邸で心臓マヒのため急逝された。行年六十二才。一九五三年駐日セイロン公使として来日、五五年そのまま初代大使に任ぜられた在日外交団の最長老である。熱烈な仏教徒で、全仏が開催した仏教徒大会には毎回のように出席され、日本仏教徒に対してたえず激励のことばをおしまなかつた。本葬儀の日取りは未定であるが、全仏でもとりあえず弔慰の詞を大使館に送った。

(K生)